

なぜ農作業の細分化（工程の分解）や分析が必要なのでしょう？

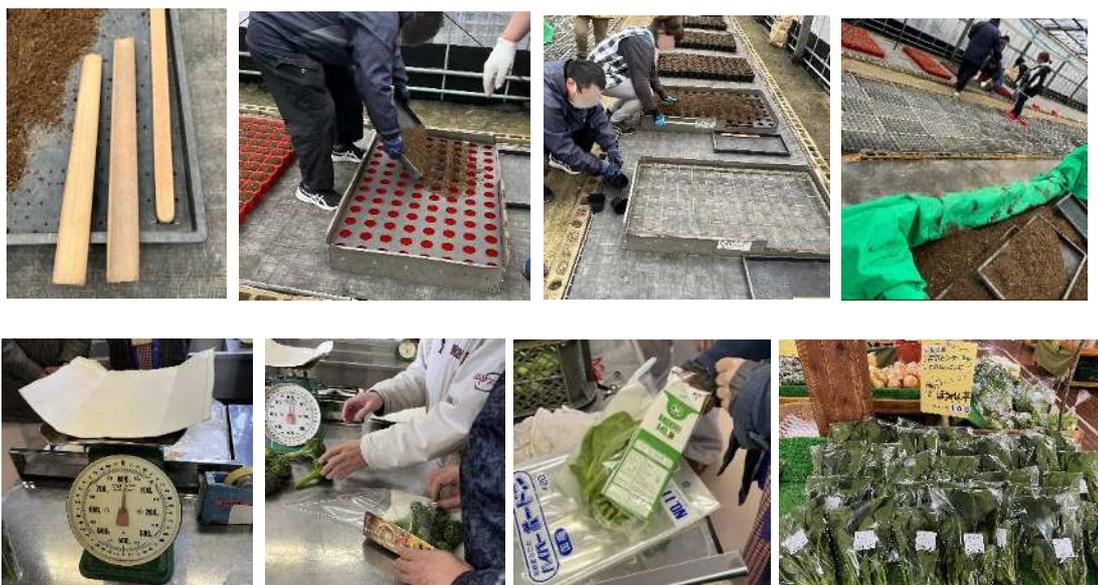
「あれとって」「水やっという」と言われて、どれだろう？水はどこにどれ位やったらいいの？と戸惑ったことはありませんか？

農作業を分解して一つ一つ見ていくことで、やさしい工程や難しい工程がわかり、その作業の何が難しいのか、どのようにしたら取り組みやすくなるのか見えてきます。

障害者の課題となりやすい作業中の動作、姿勢、指先の巧緻性、作業時に必要な注意機能などがわかれば、どの作業をしてもらうかマッチングがしやすくなり、より「具体的」「合理的」な指示ができるようになります。

また作業がしやすくなるように、道具や治具を用いる（例：牛乳パックを使った袋詰めなど）、印をつける、写真見本を用意するなど見たらわかるようにビジュアル化するなどの工夫が生まれます。その結果、誰がやってもやりやすいように作業効率が良くなるがあります。

- ◆適切な人と作業のマッチングにより生産性が向上します。
- ◆目的ややりがいを共有することで達成感を味わい、幸福度があがります。
- ◆持続可能な農福連携へとつながります。



作業手順書様式

農業者：

施設：

作業名	
作業時期・場所	
準備・服装・道具	【就労者】 【依頼主】
作業内容・ 注意事項など	

作業手順		指導員の注意点・説明など
①		
②		
③		

◆農作業分析表 記入例 (農作業分析表はA3サイズで使用することをお勧めします)

淡路式農作業分析表		記入者氏名 (農福連携技術支援者 倉田)					
基本情報 (1)	実施日	2024年 2月 22日 時刻 10:30 ~ 12:00					
	実施施設	名称	北九州市総合農事センター				
		住所	福岡 都道府県 北九州 市町村				
	作業環境	屋外: 水田 畑 花壇 他 () 屋内: 作業場 温室 ビニルハウス 他 ()					
基本情報 (2)	作業名	ほうれん草の収穫					
	作業概略	ほうれん草をハサミで収穫してカゴに入れる					
	道具・機械・資材	1 無	2 (有) (収穫ハサミ、カゴ)				
調査項目	1	パターン化	①している 2 していない (パターン化可能 パターン化困難 不明)				
	2	必要な動作 (複数可)	つかむ(にぎる)持つ 放す 置く(さす) 折る・曲げる(入れる) 出す 引く 押す たたく 打つ 回す 撫な 切る 刈る 結ぶ ほどく しぼる 前屈 ひねる 伸ばす 広げる 振る ならす 耕す(歩行) (前・横・後) 運ぶ 登る 降りる 積む 下ろす 書く 他 (土を落とす (振る))				
	3	作業姿勢 (複数可)	立位 座位 (いす) 座位 (しゃがむ) 膝立ち (両膝・片膝) 四つ這い ひねり(回旋位) 中腰 (上体を前屈する) 他 ()				
	4	a 作業負担度	1 立位・座位 膝が床面についた姿勢も含む	4 膝を軽く曲げ上体を軽く前屈 (0~30度)	5 膝を伸ばした中腰で上体を前屈 / (しゃがんだ姿勢) (かかどがついている) / 膝を伸ばし上体を軽く前屈 (30~45度)	6 膝を伸ばした中腰で上体を深く前屈 / 膝を曲げた中腰で上体を前屈 (45~90度)	10 膝を深く曲げた中腰で上体を前屈 (かかどが浮いている)
	5	b 両手の使用	1 利き手のみ使用する作業	2 片手でも可能だが両手を用いたほうが効率よい作業	3 両手を使い一連の動作や左右対称の動作を行う作業	4 両手を使い左右で異なる動作が必要だが、利き手でない方は単純な動作となる作業	5 両手を使い左右で異なる動作が必要かつ利き手でない手にも複雑な動作が必要な作業
	6	c 巧緻性	1 握る・つかむ・押さえるなどや指の力加減があまり問題にならない作業	2 手や指の力加減が少し必要/ 道具を使って比較的単純に切る・刈る・振る・ならす・耕すなどを行う作業	3 植物の茎葉や花などを傷めることなく扱えるような手や指の動きや力加減が必要	4 作業する植物部位に合わせて姿勢を変えながらの作業が必要/ 周囲の植物を傷めないよう上肢や下肢の動作が必要/ 偏みやすい部位を傷つけない細かな手指の動きが必要/ 軌立でのように上手な道具の扱いが必要	5 歩行・移動など動きのある動作を伴ったり、姿勢のバランスをとったりしながら上下肢、手指を使う、あるいは道具・機械を使う作業
		例	タマネギ収穫 (畑のタマネギを手でつまみコンテナに入れる) / 草引き (手作業)	中・大粒たまねぎ / ハサミを使うタマネギ (葉・根の) 摘採 / ジャガイモ (種芋) 定植 / 栗皮類・根菜類の収穫 / 表皮が硬い果実の収穫 / カマを使った除草 / 肥料まき / 庭や畑でのホース/スルかん水 / 畑の耕うん / 支柱立て	小粒以下のたまねぎ / 間引き / 花・野菜苗の移植・定植 / 表皮が柔らかい果実の収穫 / まし芽 / 株分け / 鉢物かん水 (ホース/スル・じょうろ・水さし) / 紐結び	スイカ受粉 / カーネーション芽かき / 果樹袋かけ / 生垣剪定 / 軌立	噴霧器による農薬散布 / 脚立を使った果樹の袋掛け・収穫剪定 / 刈払い機を使った畦刈 / キャバズ編み部切断 / チェンソー / 歩行型トラクタ (耕うん機) の操作
	7	d 作業中のおもな注意の対象 (植物・道具・右手・左手など複数記載可)	ほうれん草の株元、ほうれん草の葉がばらばら落ちてしまわないように株元をにぎり、ハサミを少し深めに土に入れて切る。ハサミの先 (ハサミの置き忘れ)。周囲のほうれん草。				
	8	e 最多注意配分数	3 (ほうれん草の株元、ハサミの先、周囲のほうれん草)	最多注意配分が必要な時の注意の対象となるもの			収穫する葉を傷めない、株元を切ってしまう(バラバラ)しない。ハサミの先で土の中の根を掘って切る。
	9	f 危険度	1 安全	2 ほぼ安全	3 やや危険	4 危険	5 きわめて危険
		説明	通常危険は予想されない	簡易な手当てで治療可能な程度の危険 (切り傷、打ち身、捻挫など) が伴う	受診が必要な怪我也起こりうる作業	安全に行うには常に複数の注意配分を要するが、受診が必要な怪我也起こりうる	安全に行うには常に複数の注意配分を要し、生命に関わるような危険が伴う
		例	播種 / 苗の定植	ハサミ/カッター・ハンマーの使用 / 重いコンテナの運搬	ハクサイ収穫 (包丁使用) / 生垣剪定 (刈込ハサミ使用)	刈払機を使った畦刈 / 歩行型トラクタ (耕うん機) の使用	高木果樹の剪定 (高い脚立使用)
10	g 作業形態	① 単独作業	② 並行作業 (2名)	③ 共同作業 (名)	他 単独作業もOK、並行作業の場合は、ハサミで切る人とカゴに入れる人で作業分担する		
11	h 工程数	ほうれん草 3~4	工程概略 ハサミで葉を収穫する→脇に葉を置いていく→土や根をとりながら葉をカゴに積っていく (ワーキングメモリーが少ない場合などは作業を分ける)				
12	i 条件数	1	条件 ・雑草や小さい株も収穫しても良い、後の工程 (調整時) で選別する				
検討項目	13	リスク管理として注意すべきこと	決められた範囲内の物を収穫する ・ハサミの扱いに注意 (指を切るリスク) ・取り忘れに注意 ・足元、転倒の注意 ・ハウス内の温度、熱中症対策をする。 ・姿勢に注意 ・害虫がついていないか注意				
	14	正確に作業を行うためのポイント	・収穫範囲を明確にしてから始める (指定範囲にここからここまでのしるしをする) ・どの状態が良いか収穫見本を見せる (葉っぱの写真やカゴに貼ったりする) ・要らない葉っぱも見本 (写真など) をみせ覚えてもらう				
	15	作業速度を上げるためのポイント	・ひとりが収穫して、ひとりがカゴに入れる (2人の流れ作業)				

a: 出典 長町三生, 1995. 作業姿勢区分ごとの評価. 「安全管理の人間工学」より, 作業中に姿勢が変わる場合は, もともとは頻繁に変わる姿勢で評価する. b: 主たる工程における手の使用状況 (最大数) を評価する. c: 主たる工程の巧緻性を評価し, 評価点が複数になる場合は高い点を選択する. d: 作業工程全体において注意の対象となるものをすべて記入する. e: 主たる工程のうち, 最多の注意配分を記入. f: 本人への危険だけでなく, 周囲の人への危険も考慮して評価する. g: 並行作業とは, 単独の作業だが複数の人が同じ場所でも同じ作業を行うものをいう. 共同作業とは, 一つの作業を複数の人で行うものをいう. 例えば, サツマモのつる切りは, つるを持ち上げる人と切る人の2名の共同作業となる. h: 例 レタスセル苗の定植の場合 「①マルチの植付け場所を確認する (ここでは穴1つおきに植えるとする) 」・「②指で穴をあける」・「③苗をトレイからとる」・「④苗を穴に置く」・「⑤土を寄せる」・「⑥鎮圧する」・「⑦移動する」, の7工程となる. i: 作業中覚えていて適宜必要な行動をとる条件の数. 例1: 畑のタマネギを拾いコンテナに入れる作業では, 備えていないものをコンテナに入れるという条件に加えて, 備えているものは別の容器に入れるという条件がある場合, 条件数は2となる. 例2: サイズ分けをしていないタマネギの立ったコンテナからタマネギを一つ取り出してサイズ分けをする作業で, (条件) Lサイズは右, Mサイズは中央, Sサイズは左のコンテナに入れる場合, 条件数は3となる.

◆農作業分析表 記入例 (農作業分析表はA3サイズで使用することをお勧めします)

淡路式農作業分析表		記入者氏名 (農福連携技術支援者 倉田)					
基本情報 (1)	実施日	2024年 2月 22日 時刻 10:00 ~ 12:00					
	実施施設	名称	北九州市総合農事センター				
		住所	福岡 都 道 府 (県) 北九州 (市) 阿 村				
作業環境	屋外: 水田 畑 花壇 他 () 屋内: (作業場) 温室 ビニルハウス 他 ()						
基本情報 (2)	作業名	ほうれん草の調整 ①葉の選定 (外葉取り、虫食い葉等の除去) ②袋詰め (①で調整した葉)					
	作業概略	ほうれん草の子葉 (双葉) や外葉、折れた葉、虫食い葉を外す。泥、土を拭き落とす。100gに量る。袋に詰めてテープで止める。					
調査項目	道具・機械・資材	1 無	2 (有) ハサミ、量り、濡れタオル、袋、スプレー、テープ、カゴ				
	1	パターン化	(1) している	2 していない (パターン化可能 パターン化困難 不明)			
	2	必要な動作 (複数可)	つまむ (にぎる) (持つ) 放す (置く) さす 折る (曲げる) (入れる) 出す (引く) 押す たたく 打つ 回す 振る (切る) 刈る 結ぶ ほどく しぼる 前屈 ひねる 伸ばす 広げる 揺る ならす 耕す 歩行 (前・横・後) 運ぶ 登る 降りる 積む 下ろす 書く 他 (テープを貼る)				
	3	作業姿勢 (複数可)	(立位) 座位 (いす) 座位 (しゃがむ) 膝立ち (両膝・片膝) 四つ這い ひねり (回旋位) 中腰 (上体を前屈する) 他 ()				
	4	a 作業負担度	1 立位・座位 膝が床面についた姿勢も含む	4 膝を伸ばした中腰で上体を前屈 (0~30度) 5 膝を伸ばした中腰で上体を前屈 / しゃがんだ姿勢 (かかとがついている) / 膝を伸ばし上体を軽く前屈 (30~45度) 6 膝を伸ばした中腰で上体を深く前屈 / 膝を曲げた中腰で上体を前屈 (45~90度) 10 膝を深く曲げた中腰で上体を前屈 (かかとが浮いている)			
	5	b 両手の使用	1 利き手のみ使用する作業	2 片手でも可能だが両手を用いたほうが効率が良い作業 3 両手を使い一連の動作や左右対称の動作を行う作業 4 (4) 両手を使い左右で異なる動作が必要だが、利き手でない方は単純な動作となる作業 5 両手を使い左右で異なる動作が必要かつ利き手でない手にも複雑な動作が必要な作業			
	6	c 巧緻性	1 握る・つかむ・押さえるなど手や指の力加減はあまり問題にならない作業	2 手や指の力加減が少し必要 / 道具を使って比較的単純に切る・刈る・揺る・ならす・耕すなどを行う作業 3 (3) 植物の茎葉や花などを傷めることなく扱えるような手や指の動きや力加減が必要 4 作業する植物部位に合わせて姿勢を変えながらの作業が必要 / 周囲の植物を傷めないよう上肢や下肢の動作が必要 / 痛みやすい部位を傷つけない繊かな手振の動きが必要 / 数立のように上手な道具の扱いが必要 5 歩行・移動など動きのある動作を伴ったり、姿勢のバランスをとったりしながら上肢、手振を使う、あるいは道具・機械を使う作業			
	例	タマネギ収穫 (種々のタマネギを手でつかみコンテナに入れる) / 早引き (手作業)	中・大粒のたねまき / ハサミを使うタマネギ (葉・根) の調整 / ジャガイモ (種芋) 定植 / 葉菜類・根菜類の収穫 / 表皮が硬い果実の収穫 / カマを使った除草 / 肥料まき / 畑の耕うん / 支柱立て	小粒以下のたねまき / 間引き / 花・野菜苗の移植・定植 / 表土 / 株分け / 鉢物かん水 (ホース/スリ/じょうろ/水さし) / 結び	スイカ受粉 / カーネーション芽かき / 果樹袋かき / 生垣剪定 / 数立	噴霧器による農薬散布 / 脚立を使った果樹の袋掛け・収穫・剪定 / 刈払い機を使った草刈 / キャバツ編み部除削 / チェンソー / 歩行型トラクタ (耕うん機) の操作	
	7	d 作業中のおもな注意の対象 (植物・道具・右手・左手など複数記載可)	根を切る時はハサミの扱いに注意。ほうれん草の葉を傷ついたり茎を折ったりしないように注意が必要。袋に入れる時に見た目良くするようにする。				
	8	e 最多注意配分数	3	最多注意配分が必要な時の注意の対象となるもの ほうれん草の葉、ハサミの袋、袋に入れてテープで止める。			
	9	f 危険度	1 安全	2 ほぼ安全	3 やや危険	4 危険	5 きわめて危険
	9	説明	通常危険は予想されない	簡易な手当てで治療可能な程度の危険 (切り傷、打身傷、捻挫など) が伴う	受診が必要な怪我也起こりうる作業	安全に行うには常に複数の注意配分を要するが、受診が必要な怪我也起こりうる危険が伴う	安全に行うには常に複数の注意配分を要し、生命に関わるような危険が伴う
	例	播種 / 苗の定植	ハサミ/カッター・ハンマーの使用 / 重いコンテナの運搬 セロテープ	ハクサイ収穫 (包丁使用) / 生垣剪定 (刈込ハサミ使用)	刈払機を使った草刈 / 歩行型トラクタ (耕うん機) の使用	高木果樹の剪定 (高い脚立使用)	
	10	g 作業形態	(1) 単独作業	(2) 並行作業	3 共同作業	他	
	11	h 工程数	5~6	工程概略 ・ほうれん草の要らない葉を落とす ・土をおとす、タオルで拭く ・量りに載せて100gにする ・スプレーに載せて束ねる ・袋に入れる ・テープで止める			
12	i 条件数	3~4	条件 ・子葉、外葉、痛んだ葉は外して、きれいな葉を残す ・100gを量って、スプレーでまとめる、葉を整える ・スプレーを袋に入れる、葉や茎を傷つけないように力加減に注意する ・袋に入れた時に長い葉は折っても良い、テープで止める				
検討項目	13	リスク管理として注意すべきこと	・ハサミに注意、手指を切らないようにテープで止める ・衛生管理の為、帽子を着用、手は洗っておく、目をこすったり、顔をかくたりしない				
	14	正確に作業を行うためのポイント	・見本を見せるまたは準備しておく (要らない葉っぱのサンプル写真、ラミネートしておくなど) ・袋詰めた仕上がり写真の見本を見せる (対象者による、必要であれば準備しておく) (視覚的に見て覚えてもらうほうが、わかりやすい)				
	15	作業速度を上げるためのポイント	・2~3人で共同作業 (流れ作業をする) ・葉を落とす人、量る人、袋詰める人 ・工程を分ける、習熟度をあげていく (袋を開けておく、スプレーを量りの上におく) ・量りの100gのメモリの所に黄色いテープを貼るなどして、わかりやすくしておく。				

a: 出典 長町三生, 1995. 作業姿勢区分ごとの評価. 「安全管理の人間工学」より. 作業中に姿勢が変わる場合は、もっと頻繁にその姿勢で評価する。 b: 主たる工程における手の使用状況 (最大数) で評価する。 c: 主たる工程の巧緻性を評価し、評価点が複数になる場合は高い点を選択する。 d: 作業工程全般において注意の対象となるものをすべて記入する。 e: 主たる工程のうち、最多の注意配分数を記入。 f: 本人への危険だけでなく、周囲の人への危険も考慮して評価する。 g: 並行作業とは、単独の作業だが複数の人が同じ場所で同じ作業を行うものをいう。共同作業とは、一つの作業を複数の人で行うものをいう。例えば、サツマイモのつる切りは、つるを持ち上げる人と切る人の2名の共同作業となる。 h: 例 レスセル苗の定植の場合 「①マルチの貼付け場所を確認する (ここでは穴1つおきに植えるとする) 」- 「②指で植穴をあける」- 「③鉢をトイから取る」- 「④苗を穴に置く」- 「⑤土を寄せる」- 「⑥鎮圧する」- 「⑦移動する」 の7工程となる。 i: 作業中考えられている適宜必要な行動をとる条件の数。例1: 畑のタマネギを拾いコンテナに入れる作業では、傷んでいないものをコンテナに入れるという条件に加えて、傷んでいるものは別の容器に入れるという条件がある場合、条件数は2となる。例2: サイズ分けしていないタマネギの入ったコンテナからタマネギ一つ取り出してサイズ分けをする作業で、(条件) Lサイズは右、Mサイズは中央、Sサイズは左のコンテナに入れる場合、条件数は3となる。

参考：淡路式農作業分析表 農作業の分析をする際にご活用ください。A3サイズで使用することをお勧めします。

引用文献

・豊田正博・金子みどり・横田優子・浅井志穂・札埜高志・城山 豊. 2016.知的障害者就労支援における農作業分析と難易評価法の開発. 人間・植物関係学誌.15(2):1-10.

淡路式農作業分析表 記入者氏名 ()							
基本情報 (1)	実施日	年 月 日 時刻 : ~ :					
	実施施設	名称					
		住所	都道府県 市町村				
		作業環境	屋外: 水田 畑 花壇 他 () 屋内: 作業場 温室 ビニルハウス 他 ()				
基本情報 (2)	作業名						
	作業概略						
	道具・機械・資材		1 無	2 有			
調査項目	1	パターン化	1 している 2 していない (パターン化可能 パターン化困難 不明)				
	2	必要な動作 (複数可)	つまむ にぎる 持つ 放す 置く さす 折る 曲げる 入れる 出す 引く 押す たたく 打つ 回す 振る 切る 刈る 結ぶ ほどく しぼる 前屈 ひねる 伸ばす 広げる 握る ならす 耕す 歩行 (前・横・後) 運ぶ 登る 降りる 積む 下ろす 書く 他 ()				
	3	作業姿勢 (複数可)	立位 座位 (いす) 他 ()	座位 (しゃがむ)	膝立ち (両膝・片膝)	四つ這い	ひねり(回旋位) 中腰 (上体を前屈する)
	4	a 作業負担度	1 立位・座位 膝が床面についた 姿勢も含む	4 膝を軽く曲げ 上体を軽く前屈 (0~30度)	5 膝を伸ばした中腰で 上体を前屈 / しゃがんだ姿勢 (かかとがついている) / 膝を伸ばし 上体を軽く前屈 (30~45度)	6 膝を伸ばした中腰で 上体を深く 前屈 / 膝を曲げた中腰で 上体を前屈 (45~90度)	10 膝を深く曲げた中腰で 上体を前屈 (かかとが浮いている)
	5	b 両手の使用	1 利き手のみ使用する作業	2 片手でも可能だが 両手を用いたほうが効率がよい作業	3 両手を使い一連の動作や左右 対称の動作を行う作業	4 両手を使い左右で異なる動作 が必要だが、利き手でない方は 単純な動作となる作業	5 両手を使い左右で異なる動作 が必要かつ利き手でない手にも 複雑な動作が必要な作業
	6	c 巧緻性	1 握る・つかむ・押さえるなど 手の力加減はあまり問題にならない作業	2 手や指の力加減が少し必要 / 道具を使って比較的に単純に 切る・刈る・握る・ならす・耕すなど を行う作業	3 植物の茎葉や花などを 摘める / とくなく 握るような 手や指の動き や力加減が必要	4 作業する植物部位に合わせて 姿勢を変えながらの作業が必要 / 周囲の植物を傷めないよう な 上肢や下肢の動作が必要 / 痛み やすい部位を傷つけない 繊かな 手指の動きが必要 / 軌立での ように 上手な道具の扱いが必 要	5 歩行・移動など 動きのある動作 を伴ったり、姿勢のバランスを とったりしながら 上下肢、手指 を使う、あるいは 道具・機械を 使う作業
	6	例	タマネギ収穫 (畑のタマネギを 手でつかみコンテナに入れる) / 草引き (手作業)	中・大粒たねまき / ハサミを使う タマネギ (葉・根)の 調整 / ジャガイモ (種芋) 定植 / 葉菜 類・根菜類の収穫 / 表皮が硬い 果実の収穫 / カマを使った除 草 / 肥料まき / 庭や畑でのホースノズルかん水 / 畑の耕うん / 支柱立て	小粒以下のたねまき / 間引き / 花・野菜苗の移植・定植 / 表皮が柔らかい果実の収穫 / さし 芽 / 株分け / 鉢物かん水 (ホースノズル・じょうろ・水さし) / 紐結び	スイカ受粉 / カーネーション芽 かけ / 果樹袋かけ / 生垣剪定 / 軌立	噴霧器による農薬散布 / 圃立 を使った果樹の袋掛け・収穫・ 剪定 / 刈払い機を使った草刈 / キャベツ備前部切除 / チェーンソー / 歩行型トラクタ (耕うん機) の操作
	7	d 作業中のおもな注意の対象 (植物・道具・右手・左手など複数記載可)					
	8	e 最多注意配分数				最多注意配分が必要な時の 注意の対象となるもの	
	9	f 危険度	1 安全	2 ほぼ安全	3 やや危険	4 危険	5 きわめて危険
	9	説明	通常危険は予想されない	簡易な手段で治療可能な程度 の危険 (切り傷、打ち身、擦 挫など) が伴う	受診が必要な怪我も起こりうる 作業	安全に行うには常に複数の注 意配分を要するが、受診が必 要な怪我も起こりうる	安全に行うには常に複数の注 意配分を要し、生命に関わるよ うな危険が伴う
	9	例	播種 / 苗の定植	ハサミ・カッター・ハンマーの使用 / 重いコンテナの運搬	ハクサイ収穫 (包丁使用) / 生垣剪定 (刈込ハサミ使用)	刈払機を使った草刈 / 歩行型トラクタ (耕うん機) の使用	高木果樹の剪定 (高い脚立使用)
10	g 作業形態	1 単独作業	2 並行作業	3 共同作業	他		
11	h 工程数	工程概略					
12	i 条件数	条件					
検討項目	13	リスク管理として注意すべきこと					
	14	正確に作業を行うためのポイント					
	15	作業速度を上げるためのポイント					

a: 出典 長町三生. 1995. 作業姿勢区分ごとの評価. 「安全管理の人間工学」より. 作業中に姿勢が変わる場合は、もっとも頻繁となる姿勢で評価する。 b: 主たる工程における手の使用状況 (最大数) を評価する。 c: 主たる工程の巧緻性を評価し、評価点が複数になる場合は高い点を選択する。 d: 作業工程全般において注意の対象となるものをすべて記入する。 e: 主たる工程のうち、最多の注意配分数を記入。 f: 本人への危険だけでなく、周囲の人への危険も考慮して評価する。 g: 並行作業とは、単独の作業だが複数の人が同じ場所で同じ作業を行うものをいう。共同作業とは、一つの作業を複数の人で行うものをいう。例えば、サツマイモのつる切りは、つるを持ち上げる人と切る人の2名の共同作業となる。 h: 例 レタセル苗の定植の場合 「①マルチの植付け場所を確認する (ここでは穴1つおきに植えるとする)」・「②指で植穴をあける」・「③苗をトレイからとる」・「④苗を穴に置く」・「⑤土を寄せる」・「⑥鎮圧する」・「⑦移動する」, の7工程となる。 i: 作業中覚えていて適宜必要な行動をとる条件の数。例1: 畑のタマネギを拾いコンテナに入れる作業では、側でいらないものをコンテナに入れるという条件に加えて、傷んでいるものは別の容器に入れるという条件がある場合、条件数は2となる。例2: サイズ分けをしていないタマネギの入ったコンテナからタマネギ一つ取り出してサイズ分けをする作業で、(条件) Lサイズは右, Mサイズは中央, Sサイズは左のコンテナに入れる場合、条件数は3となる。